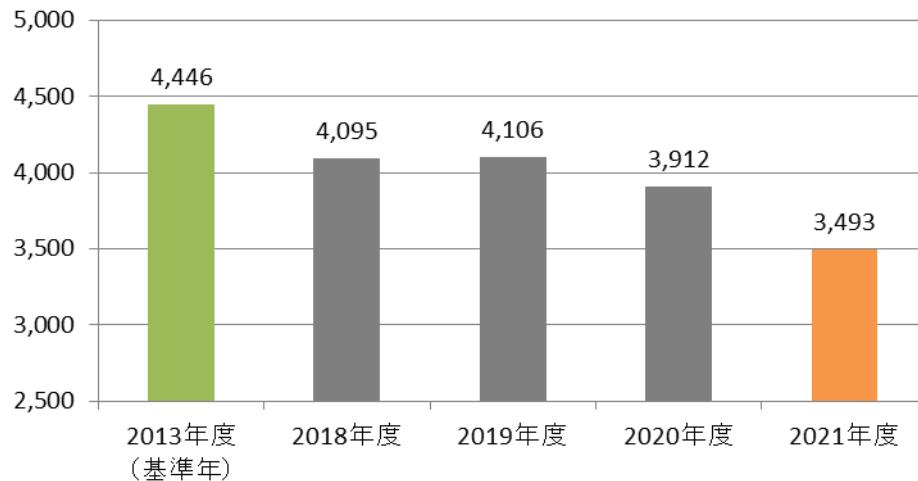


2021 年度温室効果ガス排出状況

2021 年度の温室効果ガス総排出量は 3,493t-CO₂ となり、2013 年度（基準年）比で 953t-CO₂ (21.4%) 減少しました。前年度比では 419t-CO₂ (10.7%) 減少しました。

年度	排出量 (t-CO ₂)	基準年対比	前年度対比
2013年度 (基準年)	4,446	0.0%	-
2018年度	4,095	-7.9%	-7.9%
2019年度	4,106	-7.6%	0.3%
2020年度	3,912	-12.0%	-4.7%
2021年度	3,493	-21.4%	-10.7%

温室効果ガス総排出量推移(t-CO₂)

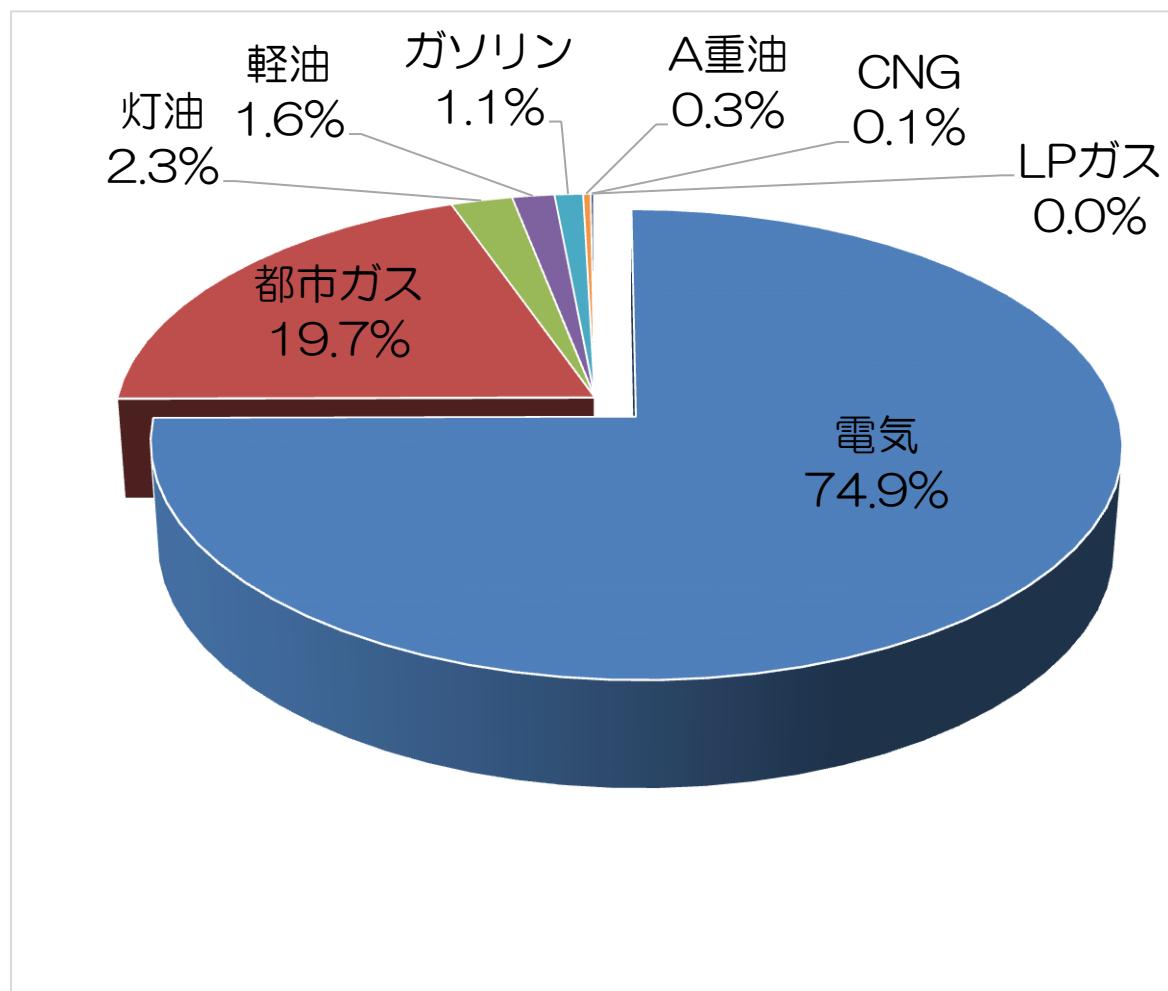


エネルギーの種類別でみると、LPガス、CNG以外の温室効果ガスの7項目において、2013年度（基準年）比で減少しました。前年度比では、軽油、灯油、CO₂以外の温室効果ガス以外の6項目で減少しました。

項目	温室効果ガス総排出量(t-CO ₂)							
	2013年度 (基準年)	2020年度	2021年度	基準年比(2013/2021)		前年度比(2020/2021)		
				増減量	増減率	増減量	増減率	
燃料	ガソリン	46	39	37	-9	-19.0%	-2	-5.0%
	軽油	76	52	55	-21	-27.4%	4	6.7%
	灯油	94	72	81	-13	-13.8%	9	10.8%
	A重油	16	11	10	-6	-36.8%	-1	-9.1%
	LPガス	0.9	1.3	1.3	0	36.2%	-0	-2.5%
	都市ガス	726	919	686	-39	-5.4%	-233	-33.9%
	CNG	4	9	4	0	7.0%	-5	-123.7%
電気	3,480	2,805	2,614	-866	-24.9%	-191	-7.3%	
CO ₂ 以外の温室効果ガス	3.5	3.3	3.3	-0	-6.5%	0	0.1%	
合計	4,446	3,912	3,493	-953	-21.4%	-419	-12.0%	

温室効果ガス排出量の構成比は、下図の通りです。

電気が全体の74.9%と最も高く、以下、都市ガス(19.7%)、灯油(2.3%)と続きます。



温室効果ガス総排出量が2013年度（基準年）比で減少した要因は、全体の約75%を占める電気使用に伴う排出量が、866t-CO₂（24.9%）減少したこと、また、排出係数のより小さい電気事業者を選択したことが挙げられます。

また、2020年度からESCO事業を実施した5施設（藤井寺市役所・藤井寺市民総合会館・藤井寺市民総合会館別館・藤井寺市立生涯学習センター・藤井寺市立保健センター）からの排出量については、2013年度（基準年）と比較して、合計して約54%減少しており、とくに効果がみられています。

引き続き、目標達成に向けて、職員・施設管理者による継続的な省エネ活動を推進してまいりますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

●事務系施設の取り組み

- ・庁舎等の事務系施設では、エネルギー使用量のうち空調（冷暖房）の占める割合が大きいことから、空調（冷暖房）温度の適正な管理やその他の節電の取り組み等を継続的に行う。
- ・施設の運用改善やOA機器・照明について、職員一人ひとりの取り組みを継続的に実施し、定着化させていく。
- ・定期的なメンテナンスによる設備・機器の性能の維持を図る。
- ・より高効率な設備・機器への更新によるエネルギー化を図る。

●市民・事業者への取り組み

- ・水道水の節水、ごみ減量、ごみの分別、リサイクルなど再利用・再資源化を啓発していく。
- ・市民が利用する施設では、利用者に協力を求め、市民との協働による取り組みを行っていく。